

【研究に関する情報】

研究課題名	Neurally Adjusted Ventilatory Assist導入前後の早産児の神経発達予後に関する多施設共同研究
研究責任者	<所属(診療科等)> 倉敷中央病院小児科 <職名・氏名> 副医長 岩崎 恵里子 <所属機関の長の氏名> 寺井 章人
研究期間	2025 年 1 月 30 日 (倫理委員会承認日) ～ 2027 年 3 月 31 日
研究の目的	NAVA を利用している当院を含めた複数の施設から、NAVA 導入開始前後の早産児の呼吸予後、神経発達予後を調査し、NAVA の有用性を評価する目的です
研究の方法	<対象となる患者さん> 当院と、共同研究の各施設（京都大学、大阪母子医療センター、杏林大学、倉敷中央病院、神奈川県立こども医療センター、東京女子医大附属足立医療センター）において、（2013 年～2021 年）に 26 週未満で出生となった早産児です。 <利用する情報> 診療を行う上で得られた臨床情報や検査結果などを利用します。収集するデータは下記のとおりです。 3 歳時点での発達指数、1 歳半の発達指数、視力障害の有無、聴力障害の有無、在宅医療の有無、慢性肺疾患の有無・重症度、死亡、人工呼吸管理期間、各種呼吸管理期間、在宅酸素、NICU 入院期間、その他合併症（脳室内出血、脳室周囲白質軟化症、動脈管開存症、消化管穿孔、壊死性腸炎、気胸、気道病変、未熟児網膜症、敗血症）。 また患者基本情報として下記の情報も収集します。 在胎週数、出生体重、性別、Apgar スコア、単胎か多胎か、初産か経産か、Small for gestational age か否か、出生前ステロイド投与の有無 情報の入力は、患者氏名や ID は入力せず、匿名化して行います。 <情報の研究利用開始日> 2025 年 4 月 4 日以降 <利用する者の範囲> 主研究施設である、長野県立こども病院共同研究施設である、京都大学、大阪母子医療センター、杏林大学、倉敷中央病院、神奈川県立こども医療センター、東京女子医大附属足立医療センターの研究者が利用します

問い合わせ先	この研究への参加は任意です。あなたの自由な意思が尊重されます。 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合 は、下記へご連絡ください。 なお、研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、情報が特定の個人を識別することができないように個人情報を加工され、復元ができない場合には、引き続き使わせていただくことがあります。 〈研究責任者〉 倉敷中央病院小児科 副医長 岩崎 恵里子 電話 086-422-0210
---------------	--